

## 緊急要望書

### 新型コロナウイルスの感染症から在宅・施設の介護崩壊を防ぐために

看護未来塾

2020年6月22日

すでに看護未来塾では、新型コロナウイルス感染症による医療崩壊を防ぐ緊急要望書（4月27日）を関係各界にお送りしたところです。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅や施設における介護事業サービスの介護崩壊を防ぐための要望を致します。

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチンや治療薬の開発が待たれる中で、感染拡大の第2波、第3波から、介護崩壊を防ぎ、高齢者や障がい者、病児などの命と暮らしを護ること、そして、心血を注いでケアする従事者を護ること、これらは地域社会の安寧と密接に繋がっております。ついては、第1波の教訓を踏まえ、国として全力を挙げて取り組むべき喫緊の課題について提案と要望をいたします。

令和元年12月時点で、在宅介護（予防を含む）サービスを受けた人は約388万人、地域密着型サービスを受けた人は877万346人、施設での介護サービスを受けた人は約95万人になりますが（「介護保険事業状況報告の概要」）、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、利用者側がサービス利用を手控えたり、サービス提供側の手控えや休業、さらには事業閉鎖が相次いでおります。また、サービス利用者の中には「認知症状が出現・悪化した」「身体機能の低下が進んだ」「精神面での不安定さが目立つ」などの報告や介護者側からの「通院できなくなった」「介護負担が強くなり、在宅継続が難しくなる」などの報告が次々と寄せられております。

もともと介護事業サービスの現場は、中小規模の事業所が多く、介護事業サービスは脆弱な体制で運営されており、長年にわたって介護職、看護職等の人員不足が常態化しております。それもあって、緊急時にあるにもかかわらず看護師は、ゾーニング等介護環境を整える役割や感染防止に関わるケアスキル能力を持ちながら、発揮できにくい状況下におかれております。

しかし、介護保険法に基づく介護事業サービスのこれまでの業績を、新型コロナウイルス感染症の影響で衰退させてはなりません。

今後、益々増大する多様な介護ニーズに応え、常に起こりうる感染症に対応できる介護事業サービスにつくり上げていくべきです。

在宅や施設における介護崩壊を防ぐための介護・医療チーム応援体制において、特に緊急性が高い次の3点を要望します。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で減収、休業した介護事業サービスに対して家賃や人件費の補助など財政的支援を速やかに行うこと。
2. 看護・介護等従事者の新型コロナウイルスへの感染や自宅待機によりマンパワーが不足し、業務量が増大している。「生活の場」を理念とするケア活動に値する処遇(給与増額、臨時手当支給等)をはじめ、速やかな人材確保への国や自治体による支援が十全になされること。
3. 新型コロナウイルス感染の第2波、第3波に備えて、看護・介護等従事者の持てる諸能力が円滑に発揮できる方途を加速すること。
  - 1) 感染防止に備えてすべての介護事業者の安全と安心を担保するために、
    - ・ 介護サービス従事者のPCR検査を2週間に1回、公費で行う
    - ・ サービス新規利用者のPCR検査を公費で行う
    - ・ 防護服等感染対策物品の購入補助をする
    - ・ 感染リスクを抑えるためテレワークやICT活用のためのインフラ整備、電子カルテ導入など初期費用の支援を行う
    - ・ 雇用調整等各種助成金の緩和と活用支援を行う
  - 2) 介護職と看護職等従事者のケアスキルが十全に発揮できる職場環境の備えを加速させるために、
    - ・ 国を挙げて人材確保と人材育成に取り組む体制を加速させる
    - ・ 常時、感染防止と看取りケアに対応した施設環境整備に必要なことを予算化する
    - ・ 医療現場との感染症に対するリテラシーの共有と協働を促す体制を整えることを加速させる

以上

看護未来塾世話人代表

南裕子（神戸市看護大学学長）

看護未来塾世話人（五十音順）

秋元 典子（甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授・学部長）

阿保 順子（NPO 法人こころ理事長）

井上 智子（国立看護大学校長）

内布 敦子（兵庫県立大学理事 副学長）

太田喜久子（日本赤十字看護大学特任教授）

岡谷 恵子（前一般社団法人日本看護系大学協議会常任理事）

片田 範子（関西医科大学看護学部教授・学部長）

上泉 和子（青森県立保健大学理事長 学長）

川嶋みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）

川原由佳里（日本赤十字看護大学教授）

小松 浩子（日本赤十字九州国際看護大学学長）

酒井 明子（福井大学医学部看護学科教授）

坂下 玲子（兵庫県立大学教授）

佐藤 紀子（東京慈恵会医科大学医学部看護学科教授）

茂野香おる（淑徳大学看護栄養学部教授・学部長）

高田 早苗（日本赤十字看護大学名誉教授・名誉学長）

田村やよひ（国立看護大学校名誉教授）

中島紀恵子（北海道医療大学名誉教授）

中山 洋子（福島県立医科大学名誉教授）

野嶋佐由美（高知県立大学学長）

菱沼 典子（三重県立看護大学理事長・学長）

増野 園恵（兵庫県立大学, 地域ケア開発研究所教授）

宮城恵里子（前健和会臨床看護学研究所）

守田美奈子（日本赤十字看護大学学長）

森山美知子（広島大学大学院医系科学研究科成人看護開発学教授）

山本あい子（四天王寺大学看護学部長・看護学研究科長）

吉沢豊予子（東北大学大学院医学系研究科教授）

本要望書に関する連絡先 E-mail : office@kangomirai.com